

令和5(2023)年度 後期授業評価アンケート分析報告書

1. 概要

2023年度前期授業評価アンケートについて、「学生データ」と「科目データ」を利用し¹、相関行列を用いた分析を行った。「学生データ」については、講義形式(①全科目、②ゼミ・卒業論文以外科目、③ゼミ・卒業論文科目)別に分析した²。「科目データ」については、開講科目の履修者数に着目し、履修者数(①20人以上、②20人未満のゼミ・卒業論文以外科目、③ゼミ・卒業論文)別に分析した。

● 分析結果

<主要項目の平均値と中央値(表1)>

- ・ 回答率(0.485)は、前回のアンケート実施時より約13%低くなった。
- ・ 代表的な項目(興味関心(4.187)、難易度(3.71)、満足度(4.201))の数値は前回とほぼ変わらず。
- ・ 学習時間については前期より約6分伸びて59.46分となり、2022年度後期の平均値に近づいた。

<【学生データの分析】授業満足度との相関関係(表2~4)>

- ・ 「表2 全科目の相関行列」における満足度との相関係数は、高い順から興味関心(0.700)、資料のわかりやすさ(0.665)、指示の適切性(0.659)である³。この結果は、2022年後期とほとんど変わらず一貫した傾向が見られた。
- ・ 「表3 ゼミ・卒業論文以外科目の相関行列」における満足度との相関係数でも、高い順から興味関心(0.700)、資料のわかりやすさ(0.671)、指示の適切性(0.659)であり、同様の傾向が見られた。
- ・ 「表4 ゼミ・卒業論文科目の相関行列」における満足度は、興味関心(0.680)が最も高いのは上記と同様である。指示の適切性(0.616)、双方向性(0.610)が資料のわかりやすさ(0.579)をわずかに上回って満足度との相関が強かったものの、傾向としては2022年後期とほぼ同様の傾向である。
- ・ 表2~4のいずれにおいても、満足度と難易度および課題分量には強い相関は見られなかった。

<【科目データの分析】授業満足度との相関関係(表5~6)>

- ・ 「表5 履修者数20人以上授業の相関行列」における満足度との相関係数は、高い順から興味関心(0.851)、指示の適切性(0.818)、資料のわかりやすさ(0.733)、双方向性(0.730)である。学生データの分析結果とは異なり双方向性も高い数値となったが、正の相関については概ね同様の傾向が見られた。

¹ 「学生データ」とは、授業評価アンケートの元データであり、サンプルサイズは、回答数(4,260件)である。「科目データ」とは、各科目で質問項目ごとにおける回答の平均値を利用したデータであり、サンプルサイズは、開講科目数(287科目)である。科目データは、各科目の総合的な評価であり、本ワーキンググループは、各科目の評価が履修者数の規模と何らかの関係性があると考え、分析を実施した。

² 前年度の分析では対面授業とオンデマンド授業を分けて分析していたが、今年度は、ほとんどが対面授業となったため、その区分を廃止した。

³ 相関係数の評価はギルフォードの規則に従う。0.2未満：相関なし、0.2~0.4：弱い相関、0.4~0.7：中程度の相関、0.7以上：強い相関。

一方、難易度（-0.458）と課題分量（-0.468）については、満足度との相関関係で中程度ではあるものの負の相関が見られた。

- ・ 履修者数 20 人未満の科目について、ゼミや卒業論文とそれ以外の科目を比較するため、「表 6 履修者数 20 人未満のゼミ・卒論以外科目の相関行列」と「表 7 ゼミ・卒業論文科目の相関行列」に分けて相関行列を作成した。いずれの相関行列においても、満足度と正の相関がある項目は興味関心、双方向性、資料のわかりやすさ、指示の適切性などであり、学生データや表 5 と順序以外変わらない。一方、満足度と難易度との相関係数は、表 6 では -0.233、表 7 では 0.125 と若干異なり、ゼミや卒業論文では負の相関はみられなかった。

● 考察

< 主要項目の平均値と中央値（表 1） >

- ・ 回答率は、本年度では回収状況を改善するため、アンケート期間中に授業ごとの回答率を通知し、教員への協力を呼び掛けるリマインドを行った。しかし回答率は同様の通知をした前期よりも 13% 下がった。In Campus 導入後は後期の回答率が下がる傾向があるが、in Campus になって経過時間が未だ短く、経過をつかみきれないので、今後の結果を注視することとしたい。
- ・ 2021 年度に比べて、2022 年度以降は学習時間が長くなる傾向が見られた。その理由としては、2022 年度から in Campus が導入されたことが可能性の一つとして考えられる。

< 【学生データの分析】授業満足度との相関関係（表 2~4） >

- ・ 前年度の報告と同様に、満足度との相関が強い項目のうち、資料の分かりやすさ、指示の適切性に関しては教員による改善の余地もあるため、FD 研修等を参考に、引き続きこれらの項目を意識した授業運営が大切だと考えられる。

< 【科目データの分析】授業満足度との相関関係（表 5~7） >

- ・ 正の相関については学生データの分析と同様の傾向であったが、負の相関については、履修者数 20 人以上授業において、2023 年前期と同様、満足度と難易度および課題分量との関係で中程度の負の相関が確認できた。この結果から、履修者数が一定数以上の授業では、難易度や課題分量が満足度に影響を及ぼしている可能性があるかと推察できる。
 - なお、「学生データ」を利用し、履修者数（①20 人以上、②20 人未満）別に分析した場合、満足度と難易度および課題分量との関係で顕著な負の相関は確認できなかった。

2. 実施状況

2023 年度後期授業評価アンケートは次の方法で実施された。

- 実施期間・収集方法
 - ・ 令和 5 年 12 月 5 日（火）～1 月 24 日（水）
 - ・ 後期・通年開講科目（集中講義を含む）について実施
 - ・ 授業時間の冒頭に、in Campus のアンケート機能を使用して実施
- ※アンケートの回答方法は、2022 年度から in Campus で行った。

3. サンプルの状況

履修者数がゼロだった科目を除いた開講科目 287 からアンケートを回収した。これらの科目より最終的に回収した回答数は、4,260 であった。

4. 主要項目の平均値と中央値

表 1 主要項目の推移

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2021前	37.79	15	0.783	0.830	4.140	4.140	3.750	3.770	4.190	4.210	42.11	38.26
2021後	37.21	13	0.758	0.786	4.170	4.160	3.780	3.790	4.190	4.180	48.06	43.88
2022前	37.60	15	0.603	0.579	4.138	4.116	3.631	3.656	4.141	4.143	59.53	53.33
2022後	37.07	15	0.560	0.545	4.157	4.167	3.731	3.727	4.177	4.185	60.68	56.46
2023前	39.89	15	0.616	0.618	4.119	4.167	3.697	3.700	4.143	4.125	53.38	48.75
2023後	37.16	14	0.485	0.500	4.187	4.182	3.710	3.714	4.201	4.231	59.46	50.00

注) 本表は、例年「科目データ」を使用して作成されている。例えば、興味関心の平均であれば、各科目の興味関心の質問に対する回答の平均値を合計し、開講科目数(287)で除している(=開講科目の平均値)。なお、学習時間は、アンケートの「課題取り組み時間(Q10相当)」で算出している。「180分以上」は180、「0分」は0とし、それ以外は真ん中の数値(例えば、0分以上30分未満は15分で計算)を用いている。

5. 授業満足度との相関関係

表2 全科目の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	0.105	0.632	0.549	0.454	0.599	-0.039	0.166	0.131	0.700
難易度 Q03	0.105	1.000	0.122	0.124	0.108	0.051	0.303	0.204	0.195	-0.003
指示の適切性 Q04	0.632	0.122	1.000	0.678	0.582	0.668	-0.058	0.111	0.128	0.659
双方向性 Q05	0.549	0.124	0.678	1.000	0.544	0.592	-0.011	0.146	0.163	0.580
in Campusの活用頻度 Q06	0.454	0.108	0.582	0.544	1.000	0.605	0.038	0.138	0.151	0.485
資料のわかりやすさ Q07	0.599	0.051	0.668	0.592	0.605	1.000	-0.043	0.126	0.123	0.665
課題分量 Q08	-0.039	0.303	-0.058	-0.011	0.038	-0.043	1.000	0.223	0.284	-0.125
予習・復習 Q09	0.166	0.204	0.111	0.146	0.138	0.126	0.223	1.000	0.744	0.117
課題時間 Q10	0.131	0.195	0.128	0.163	0.151	0.123	0.284	0.744	1.000	0.114
満足度 Q11	0.700	-0.003	0.659	0.580	0.485	0.665	-0.125	0.117	0.114	1.000

注)「学生データ」を利用。サンプルサイズ 4,260。

表3 ゼミ・卒業論文以外科目の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	0.105	0.632	0.546	0.462	0.605	-0.042	0.160	0.109	0.700
難易度 Q03	0.105	1.000	0.130	0.136	0.118	0.059	0.295	0.203	0.207	0.003
指示の適切性 Q04	0.632	0.130	1.000	0.669	0.588	0.666	-0.065	0.105	0.097	0.659
双方向性 Q05	0.546	0.136	0.669	1.000	0.547	0.589	-0.017	0.145	0.120	0.569
n Campusの活用頻度 Q06	0.462	0.118	0.588	0.547	1.000	0.609	0.041	0.155	0.149	0.485
資料のわかりやすさ Q07	0.605	0.059	0.666	0.589	0.609	1.000	-0.042	0.124	0.101	0.671
課題分量 Q08	-0.042	0.295	-0.065	-0.017	0.041	-0.042	1.000	0.224	0.297	-0.133
予習・復習 Q09	0.160	0.203	0.105	0.145	0.155	0.124	0.224	1.000	0.792	0.107
課題時間 Q10	0.109	0.207	0.097	0.120	0.149	0.101	0.297	0.792	1.000	0.076
満足度 Q11	0.700	0.003	0.659	0.569	0.485	0.671	-0.133	0.107	0.076	1.000

注)「学生データ」を利用。サンプルサイズ 3,619。

表4 ゼミ・卒業論文科目の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	0.119	0.599	0.546	0.358	0.524	-0.057	0.172	0.149	0.680
難易度 Q03	0.119	1.000	0.099	0.095	0.060	0.016	0.356	0.224	0.199	-0.025
指示の適切性 Q04	0.599	0.099	1.000	0.710	0.496	0.643	-0.067	0.106	0.157	0.616
双方向性 Q05	0.546	0.095	0.710	1.000	0.471	0.564	-0.068	0.096	0.166	0.610
n Campusの活用頻度 Q06	0.358	0.060	0.496	0.471	1.000	0.544	-0.021	0.021	0.064	0.440
資料のわかりやすさ Q07	0.524	0.016	0.643	0.564	0.544	1.000	-0.102	0.106	0.125	0.579
課題分量 Q08	-0.057	0.356	-0.067	-0.068	-0.021	-0.102	1.000	0.204	0.206	-0.132
予習・復習 Q09	0.172	0.224	0.106	0.096	0.021	0.106	0.204	1.000	0.595	0.143
課題時間 Q10	0.149	0.199	0.157	0.166	0.064	0.125	0.206	0.595	1.000	0.183
満足度 Q11	0.680	-0.025	0.616	0.610	0.440	0.579	-0.132	0.143	0.183	1.000

注)「学生データ」を利用。サンプルサイズ 641。

表5 履修者数20人以上授業の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	-0.352	0.777	0.663	0.375	0.711	-0.357	0.007	-0.012	0.851
難易度 Q03	-0.352	1.000	-0.313	-0.307	0.016	-0.236	0.403	0.364	0.337	-0.458
指示の適切性 Q04	0.777	-0.313	1.000	0.744	0.556	0.783	-0.239	0.023	0.054	0.818
双方向性 Q05	0.663	-0.307	0.744	1.000	0.359	0.564	-0.231	-0.047	-0.061	0.730
in Campusの活用頻度 Q06	0.375	0.016	0.556	0.359	1.000	0.709	0.071	0.429	0.495	0.434
資料のわかりやすさ Q07	0.711	-0.236	0.783	0.564	0.709	1.000	-0.251	0.214	0.235	0.733
課題分量 Q08	-0.357	0.403	-0.239	-0.231	0.071	-0.251	1.000	0.313	0.585	-0.468
予習・復習 Q09	0.007	0.364	0.023	-0.047	0.429	0.214	0.313	1.000	0.776	-0.062
課題時間 Q10	-0.012	0.337	0.054	-0.061	0.495	0.235	0.585	0.776	1.000	-0.125
満足度 Q11	0.851	-0.458	0.818	0.730	0.434	0.733	-0.468	-0.062	-0.125	1.000

注)「科目データ」を利用。サンプルサイズ120。

表6 履修者数20人未満のゼミ・卒論以外科目の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	-0.142	0.562	0.854	0.080	0.780	-0.254	0.250	0.045	0.875
難易度 Q03	-0.142	1.000	0.145	-0.153	-0.047	-0.079	0.240	-0.112	0.039	-0.233
指示の適切性 Q04	0.562	0.145	1.000	0.571	0.433	0.593	-0.281	-0.014	0.126	0.567
双方向性 Q05	0.854	-0.153	0.571	1.000	0.089	0.774	-0.264	0.272	0.084	0.820
in Campusの活用頻度 Q06	0.080	-0.047	0.433	0.089	1.000	0.231	0.052	-0.128	0.010	0.074
資料のわかりやすさ Q07	0.780	-0.079	0.593	0.774	0.231	1.000	-0.150	0.254	0.056	0.778
課題分量 Q08	-0.254	0.240	-0.281	-0.264	0.052	-0.150	1.000	0.065	0.318	-0.322
予習・復習 Q09	0.250	-0.112	-0.014	0.272	-0.128	0.254	0.065	1.000	0.642	0.197
課題時間 Q10	0.045	0.039	0.126	0.084	0.010	0.056	0.318	0.642	1.000	0.056
満足度 Q11	0.875	-0.233	0.567	0.820	0.074	0.778	-0.322	0.197	0.056	1.000

注)「科目データ」を利用。サンプルサイズ55。

表7 ゼミ・卒業論文科目の相関行列

	Q02	Q03	Q04	Q05	Q06	Q07	Q08	Q09	Q10	Q11
興味関心 Q02	1.000	0.273	0.865	0.831	0.508	0.789	-0.306	0.140	0.024	0.887
難易度 Q03	0.273	1.000	0.235	0.209	-0.013	0.023	0.332	0.254	0.201	0.125
指示の適切性 Q04	0.865	0.235	1.000	0.868	0.549	0.805	-0.310	0.100	0.033	0.885
双方向性 Q05	0.831	0.209	0.868	1.000	0.531	0.758	-0.382	0.050	0.077	0.806
in Campusの活用頻度 Q06	0.508	-0.013	0.549	0.531	1.000	0.692	-0.236	-0.037	-0.121	0.541
資料のわかりやすさ Q07	0.789	0.023	0.805	0.758	0.692	1.000	-0.347	0.004	-0.052	0.788
課題分量 Q08	-0.306	0.332	-0.310	-0.382	-0.236	-0.347	1.000	0.152	0.160	-0.347
予習・復習 Q09	0.140	0.254	0.100	0.050	-0.037	0.004	0.152	1.000	0.788	0.141
課題時間 Q10	0.024	0.201	0.033	0.077	-0.121	-0.052	0.160	0.788	1.000	0.059
満足度 Q11	0.887	0.125	0.885	0.806	0.541	0.788	-0.347	0.141	0.059	1.000

注)「科目データ」を利用。サンプルサイズ112。

6. 今後の課題

- ・2023年度前期及び後期のアンケート結果の共通点として、学生データでは難易度や課題分量と満足度間に相関はみられなかったが、科目データでは中程度の負の相関がみられた。科目の傾向を把握する目的からも、今後は科目データを用いた分析への移行を検討する。

以上